BUSINESS REPORT 2019

2018.9.1 ＞ 2019.8.31

FOR SAFETY FOR SOCIETY

JESCO

安心して暮らせる豊かな社会づくりに貢献する

1 トピックス 米「Newsweek」、英「THE WORLDFOLIO」に会長インタビューが掲載

2 トピックス ベトナムで、大型案件「フローラ・ミズキ・パーク・プロジェクト」を受注

JESCOホールディングス株式会社

証券コード：1434

マネジメントメッセージ

代表取締役会長 兼 CEO
松本 俊洋

Newsweek など海外有力メディアが当社グループのベトナムでの取り組みを注目しています

株主の皆様には、当社グループへの日ごろのご支援に対し、心より感謝申し上げます。

お陰様でわが社は2020年８月期、創業50周年の節目の年を迎えます。この間、電気・通信・無線を基盤に培ってきた技術、知識、経験を駆使し、順調に成長を続けてまいりました。

特に、海外事業では25年前にアセアンに進出以来、ベトナムを中心にEPC(設計・調達・建設)事業を確実に拡大してまいりました。昨年度は10億円規模の高層コンドミニアムの受注に続き、新たなODA案件としてフエ防災関連工事の受注にも成功しました。

こうした海外での取り組みが評価され、2019年9月13日発行の米国の大手ウィークリーマガジン「Newsweek」インターナショナル版に当社の取り組みが掲載されました。また、2019年４月、６月と２回にわたり、英国のグローバルニュースサイト「THE WORLDFOLIO」のウェブサイトにも同様の記事が掲載されるなど、当社グループの取り組みが海外の有力メディアから注目を集めています。

アセアンでは経済発展とともに、高度な技術が要求される化学、石油、さらには太陽光発電プラントなどの工事が増加しています。50年間蓄積してきた技術と、設計から調達、施工、保守・メンテナンスまでを一貫して受注できる当社の強みを生かし、国内外での受注の拡大に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画

2019年10月に公表いたしました3ヵ年中期経営計画では、2020年8月期計画「連結売上高100億円」、「営業利益2億50百万円」、最終年度の2022年8月期計画「連結売上高140億円」、「営業利益5億円」といたしました。

海外戦略のあゆみ

1997年 マレーシアに合弁会社、JESCO BINA MALAYSIAを設立
(現：業務提携)

2001年 ベトナムホーチミン市にJESCO SE VIETNAMを設立
(現：JESCO ASIA JSC)

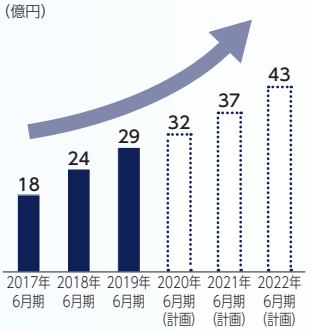
2014年 ベトナムホーチミン市のゼネコン最大手ホアビン建設の設備工事子会社を連結子会社化(現：JESCO HOA BINH ENGINEERING JSC (JHE))

2017年 ベトナムダナン市にJESCO ASIA JSC ダナン支店開設

2018年 ベトナムハノイ市にJESCO CNS VIETNAM COMPANY LIMITED設立
ベトナム国建設省副大臣表彰「2018年度高品質工事賞」受賞

2019年 JESCO HOA BINH ENGINEERING JSCが
ベトナム国建設省より「一級建設関係能力証明書」取得

アセアンEPC事業連結売上高(計画)



(注) 数値はセグメント間消去前
(注) 四捨五入後

代表取締役社長　執行役員社長
唐澤 光子

経営体質の強化を図り、「Victory200」の達成に挑戦します

株主の皆様には、平素より当社グループへのご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

お陰様で2019年8月期(第50期)は、創業以来の目標としていた連結売上高100億円を達成することができました。しかし、利益面では営業損失88百万円、当期純損失1億25百万円と、計画を達成することができませんでした。

第51期は売上高100億円、営業利益2億50百万円を計画しております。配当金につきましては、12円を予定しております。

当社は、2020年8月に創業50周年を迎えますが、次の目標は連結売上高200億円、海外売上高比率50%への挑戦です。

目標達成を目指し中長期経営計画「Victory200」へ向けて、次の3点に注力して経営体質の強化を図ってまいります。1点目は本社を新中野に移転し社員の風通しを良くし、業務の効率化を進めてまいります。2点目は業界での当社の技術認知度を高め、大手顧客から付加価値の高い受注につなげていきます。最後に、当社の経営理念である「FOR SAFETY FOR SOCIETY」の実践が経営体質の強化につながることから、法令遵守、企業規範、商取引ルール、社会規範などコンプライアンスの遵守に努めてまいります。

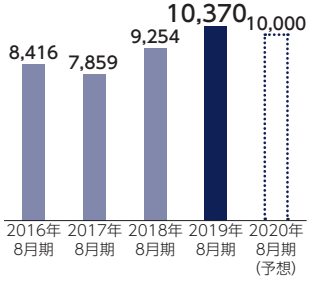
当社では、創業50周年に向け、株主優待ベトナム視察旅行など51期も様々な記念行事を予定しております。

引き続き株主の皆様のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

連結財務ハイライト

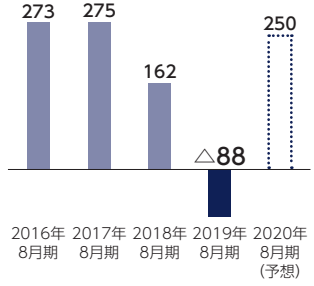
売上高

(百万円)



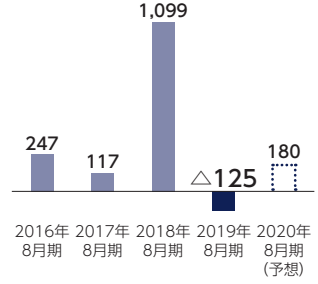
営業利益

(百万円)

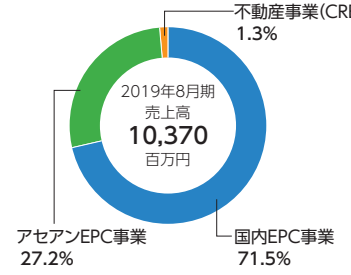


親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



売上高構成比



＊EPC（設計・調達・建設）

アセアンEPC事業が牽引し、連結売上高104億円と過去最高を更新

国内EPC事業

売上高 7,418百万円（10.0%増）

国内EPC事業においては、JESCO CNS株式会社において、ETC、CCTV等の高速道路付帯設備及び太陽光発電設備工事を中心として若干の増収となりましたが、特に第4四半期において工事竣工前に繁忙期と重なったことによる外注労務単価の高騰等の影響により大幅な減益となりました。一方、JESCO SUGAYA株式会社においては、電気設備関連及び太陽光発電設備工事を中心に増収増益となりました。
当連結会計年度における当セグメントの経営成績は、売上高74億18百万円(前年同期比10.0%増)、セグメント損失1億15百万円(前年同期はセグメント利益1億5百万円)となりました。

アセアンEPC事業

売上高 2,821百万円（22.1%増）

アセアンEPC事業においては、JESCO ASIA社において、電気を中心に設計業務の出来高が増加したものの、前期に大型工事案件が完工したこと等により減収となりました。また、JESCO HOA BINH ENGINEERING社においては、ホーチミン市の大型集合住宅の電気設備、空調換気設備、給排水衛生設備等の工事が進行したことにより増収となりましたが、競争激化に伴う受注粗利の低下及び材料費の上昇等から大幅な減益となりました。
当連結会計年度における当セグメントの経営成績は、売上高28億21百万円(前年同期比22.1%増)、セグメント損失27百万円(前年同期はセグメント利益1億24百万円)となりました。

不動産事業

売上高 130百万円（35.8%減）

不動産事業は、前第4四半期連結会計期間において、賃貸用資産(JESCO新宿御苑ビル)を売却したこと等により減収となりましたが、引き続き賃貸管理収入により安定した収益事業となっております。
当連結会計年度における当セグメントの経営成績は、売上高1億30百万円（前年同期比35.8%減）、セグメント利益1億6百万円（同32.9%減）となりました。

TOPICS 1 ベトナムで初めて防災関連工事を受注

JESCO ASIA社は2019年6月、ベトナム政府が日本のODA(政府開発援助)を使ってフエ省で開発を進めている防災関連工事を日本無線様から受注しました。受注総額は3億4,000万円で、ダム局3ヵ所、水位観測局10ヵ所、無線局7ヵ所などの工事を担当します。
JESCOグループがベトナムで防災関連の工事を受注するのは今回が初めてです。今回の受注を機に、防災関連工事にも積極的に取り組んでいく方針です。

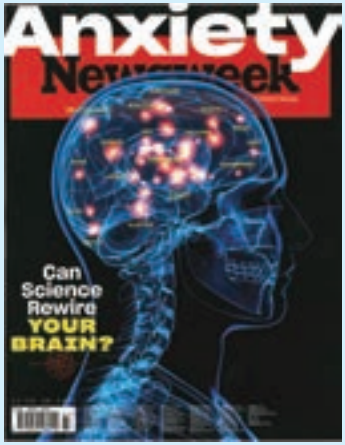
TOPICS 2 第2回「創立50周年記念株主優待旅行」でベトナム視察にご招待

2019年8月末時点の株主様を対象に、抽選で5組10名様をベトナム視察にご招待します。来年8月、創業50周年を迎えるのを機に、昨年度から実施しているものです。
第1回目の視察後のアンケートでは、参加者全員から「良かった」とのお声をいただくなど高い評価をいただきました。

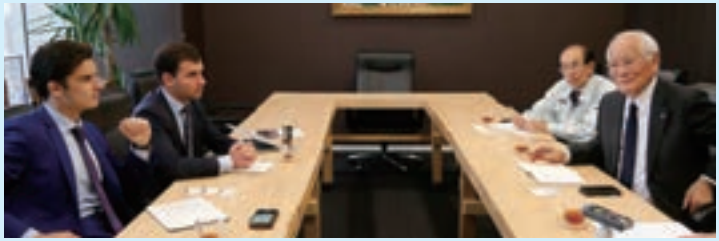
旅程予定　2020年3月3日(火)～3月8日(日)4泊6日
タンソンニャット国際空港、ノイバイ国際空港、JESCO ASIA オフィス、JHE施工現場、観光

TOPICS 3 ベトナムの物流会社に投資し、新たな分野に挑戦

JESCO HDはベトナム・ホーチミン市の港湾・物流会社であるDepot Saigon社に1億円(発行株式の5%)を出資し、新たに物流分野に参入しました。Depot社はサイゴン川下流に、10万tの船が入港できる港湾を整備中で、ホーチミン市の物流の要所になることが期待されています。JESCOでは倉庫、港湾、物流関連施設などの工事の受注が期待できるとともに、新しい分野への進出でベトナムでの経営基盤の強化にもつながります。



Newsweek 表紙、掲載ページ



取材の様子、当社オフィスにて

1 米 Newsweek に 松本会長の インタビュー記事が掲載

2019年9月13日発行の米国の大手ウィークリーマガジン「Newsweek」インターナショナル版に、松本会長兼CEOのインタビュー記事が掲載されました。また、英国のグローバルニュースサイトである「THE WORLDFOLIO」にも2019年4月と6月の2回にわたり、同様の記事が掲載されました。

「Made in Japan」製品から、最近では、日本の技術でつくられたという意味で「Made by Japan」製品が評価される中で、建設業界の「Made by Japan」との評価を受け取材対象に選ばれたものです。

いずれの記事もベトナムなど海外でのグループの取り組みを紹介したもので、JESCOの取り組みが海外メディアからも大きな注目を集めている証左と言えます。

2 ベトナムで 大型工事案件を受注

JESCO HOA BINH ENGINEERING社は2019年3月、日本の不動産会社がホーチミン市で開発を進めている「フローラ・ミズキ・パーク・プロジェクト」を受注しました。

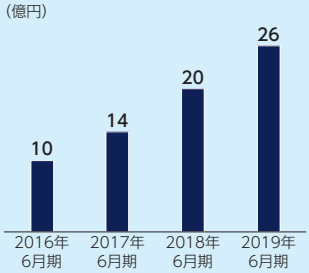
総開発面積は26haで、工事内容は地下1階、地上20階、延べ床面積15万5,000㎡の高層コンドミニアム5棟の電気設備工事、防火設備工事などです。

受注総額は10億円で、過去最高の大型受注となりました。

▲フローラ・ミズキ・パーク・プロジェクト
2019年3月受注 ホアビン建設施工　受注額10.3億円
日本企業出資による大型プロジェクト
地下1階、地上20階、5棟

JHE 売上高実績

ホーチミン市の高層コンドミニアム設備施工実績で当社推定30%シェア



企業・株式情報（2019年8月31日現在）

会社概要

商号	JESCOホールディングス株式会社
設立	1970年8月
所在地	本店 東京都新宿区中落合3丁目25-14 JESCO 中落合ビル 本社事務所 東京都中野区中央4丁目3-4 JESCO 新中野ビル （※業務開始日 2019年9月17日）
資本金	9億71百万円
従業員数	622名（連結）
上場証券取引所	東京証券取引所（市場第二部）

役員（2019年11月27日現在）

代表取締役会長兼CEO	松本俊洋
代表取締役社長 執行役員社長	唐澤光子
取締役 執行役員専務	中牟田一
取締役 執行役員常務	大塚和彦
取締役 執行役員常務	古手川太一
社外取締役	村口和孝
社外取締役	グェン ティ ゴク ロアン
常勤監査役	畑中達之助
監査役	鈴木正明
監査役	佐藤精一

株式の状況

発行可能株式総数	17,464,000株
発行済株式総数	6,575,600株
株主数	4,199名

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数（株）	持株比率（%）
松本俊洋	868,800	13.22
京セラコミュニケーションシステム株式会社	400,000	6.09
日本コムシス株式会社	400,000	6.09
ヤマト電機株式会社	300,000	4.57
JESCO従業員持株会	237,631	3.62
ヤマハモーターロボティクスホールディングス株式会社	200,000	3.04
唐澤光子	170,800	2.60
西武信用金庫	130,000	1.98
金田孟洋	128,000	1.95
功刀幸寛	80,400	1.22

- 個人・その他　4,137人　4,889,868株（74.42%）
- 金融機関　4人　280,000株（4.26%）
- 国内法人　32人　1,370,901株（20.86%）
- 外国法人等　15人　15,110株（0.23%）
- 証券会社等　10人　14,876株（0.23%）

＊自己株除く

● 株式事務のご案内

事業年度	毎年９月１日から翌年８月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後３ヵ月以内
剰余金の配当の基準日	毎年８月31日、毎年２月末日
１単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ先

取扱場所　東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部

取次所　みずほ信託銀行株式会社全国各支店
みずほ証券株式会社本店及び全国各支店及び営業所

各種事務手続きに関する電話お問い合わせ先
0120-288-324

公告掲載方法

当社の公告方法は、電子公告としております。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をする事ができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法としております。
当社の公告掲載URLは次のとおりであります。**https://www.jesco.co.jp/ja/ir.html**

● 見通しに関する注意事項

本冊子には、業績見通し等の将来に関する記述が含まれておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

UD FONT

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915

VEGETABLE OIL INK